



学校だより

1月号

横浜市立六つ川台小学校

令和2年1月7日

URL:<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

E-mail:y3mutukd@edu.city.yokohama.jp

新しい年を迎えて

校長 滝本 俊一

あけましておめでとうございます。今年の新日の出は、雲の隙間から宝石のように光り輝いて見えました。横浜の三が日は、とてもよい天気にも恵まれました。皆様におかれましては、穏やかに新しい年を迎えられたことと拝察いたします。

今年の干支は「庚子(かのえね)」です。「干支」とは、十干と十二支を組み合わせたものです。「庚子」は、新たな芽吹きと繁栄の始まりを意味しています。そして、新しいことを始めると上手くいくといわれています。小学校では、4月から新学習指導要領が全面実施され、新しい教育課程が始まります。庚子の年に始まる新しい教育が、子ども達にとって実のあるものにしていきたいと思っております。

ところで、令和2年、2020年は2月が29日まであるうるう年です。「うるう」とは、暦上で、1年の日数や月数が普段の年より多いこと、または1日の秒数が普段の日よりも多いことをいいます。太陽暦では1太陽年の長さが365日より約4分の1日長いので、例外はあるものの、西暦年が4で割り切れる年をうるう年として、2月29日といううるう日を設けることで調整しているのです。そして、そのうるう年で思い出すのは、オリンピック・パラリンピックイヤーです。大抵の場合、うるう年に開催されます。しかし、例外があります。それが1900年に開催されたパリオリンピックです。原則、西暦年が4で割り切れる年がうるう年になるものの、100で割り切れる場合は例外としてうるう年にはなりません。ところが400で割り切れる場合は、例外の例外としてうるう年になります。そのため、シドニーオリンピック・パラリンピックが開催された2000年は、100で割り切れますが400でも割り切れるのでうるう年でした。

新年恒例の実業団駅伝では旭化成が、箱根駅伝では青山学院大がそれぞれ優勝を果たしました。どちらの大会でも良い天候に恵まれたからか、新記録がたくさん出ました。しかし、新記録が出た理由は他にもあるようです。それは、最近、多くの選手が使用するようになった、いわゆる厚底靴です。これまでは、マラソンなど長距離を走るには、軽い薄底の靴が良いというのが常識でした。ところが、新しく開発された靴は、これまでの常識とは違う厚底のものです。そして、それを使用した選手が次々と良い記録を出しているのです。なぜ、良い記録が出るのでしょうか。厚底に使われている素材もその要因の一つのようですが、その靴を履いて走るとランニングフォームが良くなることで、良い記録に結びついていると言われております。

これまでの常識にとらわれずに考える力や新しいものを創造していく力は、これからの社会に必要とされる力です。子ども達に身につけさせたい力です。

本年も、地域の皆様、保護者の皆様の御理解と御協力をいただきながら、六つ川台小学校の子ども達みんなが、健やかに成長できる学校をつくっていきたく思います。

よろしく願い申し上げます。